

# 電機・情報ユニオン

2022年10月10日 第133号

発行 電機・情報ユニオン

〒142-0043 東京都品川区二葉

2-20-8染野ビル2F

Tel03-6421-5323、Fax03-6421-5324

Email: denkiunion@gmail.com

## 第12回 定期大会

## 国際労働基準を活かした 労働組合運動を職場で推進しよう

9月18日(日)

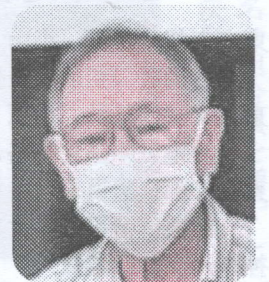
第12回定期大会



68万人リストラに反撃し、雇用と地域経済を守ろう！職場に自由と民主主義の確立を！。電機・情報ユニオンは9月18日(日)、第12回定期大会を東京都教組北多摩西支部教育会館で開催しました。大会には、16人の代議員をはじめ57人(会場26人、オンライン31人)が参加しました。

国際労働基準を活かされ  
人権が尊重される職場を

委員長あいさつを行った



米田 徳治  
中央執行委員長

米田徳治中央執行委員長は、ロシアが強行したウクライナ侵略戦争は最大の人権侵害であり、ウクライナで働く多くの電機労働者が被害にあっていること、電機大手企業はコロナ禍でも儲けをあげて内部留保を積み増していること、人権侵害の個別リストラが行われ電機リストラが68万人を超えたこと、10周年記念誌と電機産業政策提言冊子を活動に活かす重要性、三菱電機の女性労働者が強いられた「監禁部屋」と監視カメラを撤去する運動、伊草不当解雇争議での画期的な勝利判決を全労働者に広げる意義、日本政府が策定した「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」などを報告し、「職場に自由と民主主義を確立していこう。国際労働基準にそった労働組合運動を職場で推進し、人権が尊重される職場をつ

くろう」と呼びかけました。最賃引き上げ、悪政阻止  
共同闘争を強めよう



東京地評  
井澤 智 事務局長

連帯あいさつを行った東京地評の井澤智事務局長は、新型コロナウイルス流行の第6波、7波を招いて救える命を救えなかった岸田政権の責任は重いこと、安倍晋三元首相の国葬に対して東京地評は100か所で抗議宣伝を行ったこと、アベノミクスにより労働法制大改悪、賃金引き下げ、リストラが行われ労働者は苦しめられたことなどを報告し、「伊草さんが勝ち取った勝利判決をすべての労働者に知らせよう。たたく労働組合の力を結集し、労働者の生活と権利を向上させよう」と



神奈川労連  
山田 浩文 事務局長

呼びかけました。

神奈川労連の山田浩文事務局長は、神奈川労連が伊草不当解雇争議、日立リストラかながわ対策会議、三菱電機の「監禁部屋」撤去などに連帯して取り組んでいることを紹介し、「日立の再雇用労働者などの賃金が最低賃金に張りついている。最低賃金引き上げのたいきたいを大きく取り組んでいきたい」と述べました。



電機労働者懇談会  
今井 節生 代表

電機労働者懇談会の今井節生代表は、電機・情報ユニオンと電機懇との協同の取り組みを紹介し、「東芝をはじめ電機大手は、CSR

(2面に続きます)

### 第133号の紹介

1面 ~ 4面

第12回定期大会

4面 告知板、あとがき



(1面からの続き)

経営の立派な看板を掲げているが、現場では実行されていない。国際労働基準を実際にやらせる取組みを協同して取り組んでいきたい」と述べました。

取組み・成果を共有し  
さらなる前進・発展を

森英一書記長は、活動報告、情勢、運動方針案を第12回定期大会議案書にそって簡潔に提案しました。

活動報告では、この1年間の取組みをできるだけ多く網羅して簡潔に述べ、多くの組合員が共有できるように取りまとめていること、今期も、2020年2月から続く新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、各種集会の開催中止、宣伝行動の自粛、団体交渉の延期などの困難も発生したが、リモート会議を活用した機関会議の開催を維持して諸活動を展開してきたこと、産業別労働組合としての活動は第11回電機業界団体要請行動、第8回共同(全労連、東京地評、電機・情報ユニオン)省庁要請行動などに取り組んだこと、組合員の要求実現では、労働局

電機・情報ユニオン第12回定期大会



大会議案を提案する森 英一 書記長

の活用、団体交渉の実施、門前宣伝、株主総会行動、春闘要求書提出などを取り組み一定の成果を勝ち取ったこと、三菱電機とのたたかいで派遣切り争議と職場のたたかいが大きく前進したこと、東芝関連で出向内示撤回の通知書を勝ちとつたこと、組織拡大では後退した状況となっていることなど、この1年間の取組み・成果・教訓を報告しました。電機労働者を取り巻く情勢では、「新しい資本主義」を標榜する岸田内閣とのたたかい、電機産業の大リスクとらとのたたかい、原発再稼働を許さず「原発ゼロ」に、人間らしい労働の実現にむけて「国際労働基準」を生かした労働組合活動な

大会での発言

- 東京支部代議員 小山 光男さん  
労働者の要求から生まれた「NEC分会」
- 東京支部代議員 相原 幸雄さん  
沖電気の経営戦略と人減らしリスクとの闘い
- 東京支部代議員  
電機・情報ユニオンに加入しての活動
- 神奈川支部代議員  
日立社会情報サービスでの処遇・低賃金是正の取組み
- 愛知支部代議員  
会社からの出向命令撤回の勝ち取りに至るまで
- 茨城支部代議員  
電機・情報ユニオンに加入しての活動
- 神奈川支部代議員 伊草 貴大さん  
復職の実現に向けた交渉と争議支援
- 群馬支部代議員 平井 盛博さん  
沖電気富岡工場でのリスクに対する闘い
- 西野 健一 副委員長  
NECリユニオンイバータ中正司さん不当解雇裁判が和解解決
- 東京支部代議員  
ユニオンでの活動について
- 長谷部 俊昭 中央執行委員  
愛知支部での新しい挑戦Facebookを活用した情報発信
- 東京支部代議員  
富士通での再雇用条件の是正を求める取り組み
- 大阪支部代議員 北村 泰一さん  
NECリユニオンイバータでの処遇是正の取組み
- 東京支部代議員  
三菱電機「監禁部屋」撤去、セクハラ告発の取組み
- 東京支部代議員  
メンタルヘルス悪化で休職し、復職した一年後の状況

などを報告し、グローバルな経済状況や労働状況などを議案に掲載した豊富な表やグラフで読み取り、大きな視点でとらえることが大切であり、国際労働基準をしっかりと学びながら、情勢論を身につけることを強調しました。

運動方針案では、これまでの11年間に開拓して培ってきた運動方針を補強充実にさせ、現職組合員の活動を豊かに前進させる内容を強調した方針であること、新型コロナウイルス対応に伴

職場のたたかいを  
活き活きと発言

13人、役員2人)が発言しました(左表)。

小山光男代議員は、2012年に開始したNEC分会会議を月1回開催を基本にして109回に達したことで、分会会議が組合員の要求を実現する大きな力になり成果をあげていること、今後の課題などを報告し、



小山 光男 代議員

(3面に続きます)